

さかい～統計情報館

The statistical report of Sakai City



今回の数字

42.4%

作成日：平成19年7月24日
作成元：坂井市役所 情報政策課
TEL:0776-50-3014
FAX:0776-67-7509
MAIL:jyohou@city.fukui-sakai.lg.jp

～どちらまで通っていますか？～

国勢調査の重要な調査項目の1つとして、「世帯員の従業地又は通学地」があります。従業地・通学地における人口を集計することで、従業地・通学地の人口構成や常住地（自宅のある場所）の市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係などが明らかになってきます。そこで今回は、通勤・通学により、坂井市と市外の間でどれくらいの人が行き来しているのか、平成17年国勢調査の「従業地・通学地による人口」の集計結果の内容をご紹介します。

前回、平成17年国勢調査の坂井市総人口は92,318人とご紹介しました。この人口は、ふだん坂井市に住んでいる者（自宅）の人口で、「常住人口」または「夜間人口」といわれます。前段で記しました「従業地・通学地による人口」は、「昼間人口」ともいわれ、就業者や通学者の勤め先や通学先の場所で集計した人口です。「昼間人口」は、次の計算により求められます。（15歳以上の就業者・通学者を対象にしています。）

「昼間人口」＝「夜間人口」－「流出人口」(注1) ＋ 「流入人口」(注2)

(注1):「流出人口」…常住地の自治体からみて、従業地・通学地が他自治体である者の人口

(注2):「流入人口」…従業地・通学地のある自治体からみて、常住地が他自治体である者の人口

図1

流出人口
23,225人

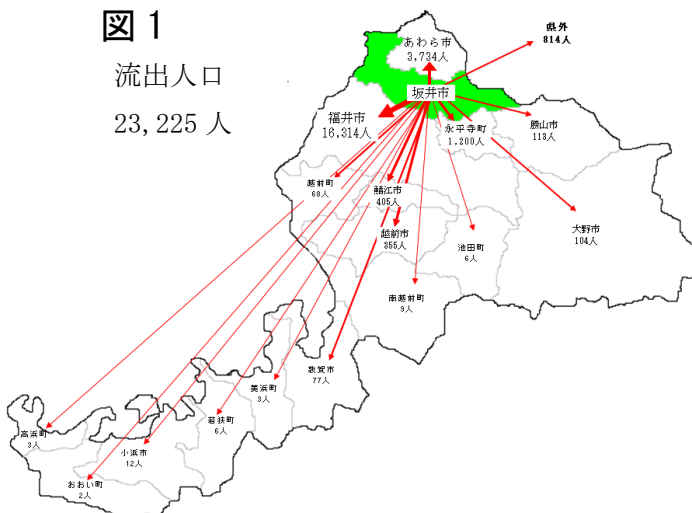
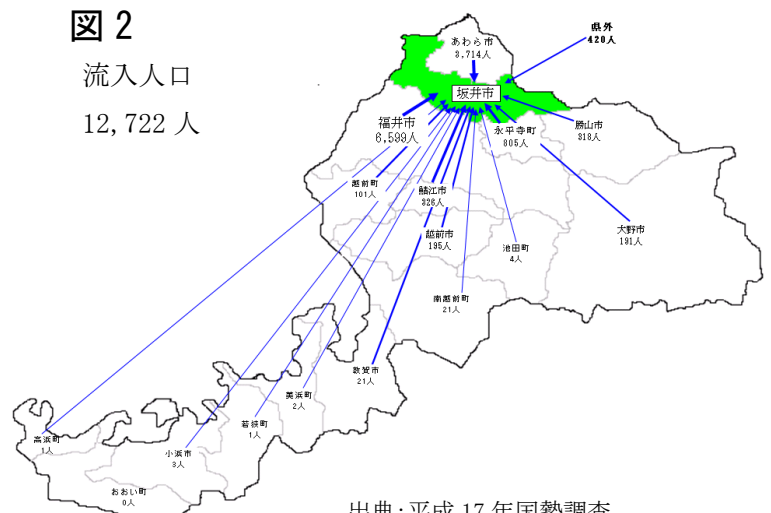


図2

流入人口
12,722人



出典:平成17年国勢調査

この計算式から坂井市の「昼間人口」を求めると 81,815 人で、「夜間人口」より 10,503 人少なく、昼夜間人口比率（昼間人口/夜間人口×100）は 88.6 となります。旧 4 町ごとの昼夜間人口比率は、三国町 95.3、丸岡町 86.5、春江町 87.2、坂井町 84.7 で、すべて 100 を下回っており、流出超過となっているようです。特に丸岡、春江、坂井の 3 町で昼夜の人口差が大きいようです。

次に、坂井市の流出人口に注目すると、坂井市の夜間人口における 15 歳以上の就業者・通学者は 54,743 人（自宅就業者 7,071 人含）で、このうち、市外へ通勤・通学している者（流出人口）の割合は 42%を超えています。県内の他市と比較すると、かなり高い割合で市外に通勤・通学していることがわかります。市外への通勤・通学先として最も大きな割合を占めているのは、図 1 および下のグラフ 1 から分かるように「福井市」で、全体の約 7 割を占めています。

15 歳以上の就業者通学者の流出人口の割合

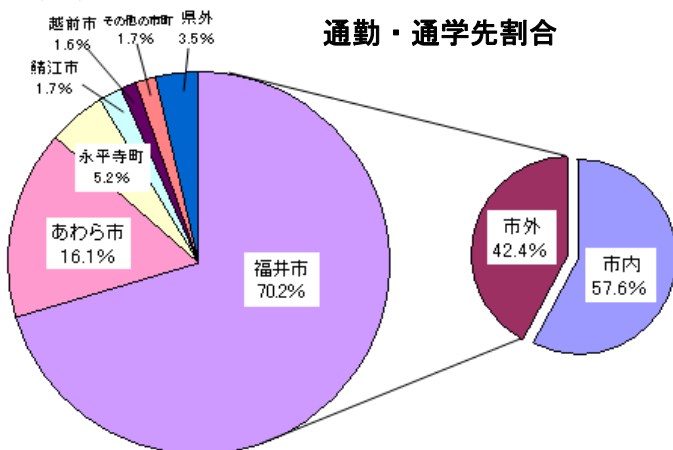
市名	流出人口割合(%)
敦賀市	10.4
福井市	13.2
小浜市	16.7
大野市	22.8
越前市	26.3
勝山市	29.3
鯖江市	40.7
坂井市	42.4
あわら市	44.7

次に、坂井市の流入人口に注目すると、坂井市の昼間人口における 15 歳以上の就業者・通学者は 42,240 人（自宅就業者含）で、このうち、市外から通勤・通学して来る者（流入人口）の割合は約 29%です。県内の他市と比較すると、やや高いことがわかります。流入する通勤・通学者の常住地として大きな割合を占めているのは、グラフ 2 のとおり流出人口と同様に、やはり「福井市」で、全体の約 5 割を占めています。

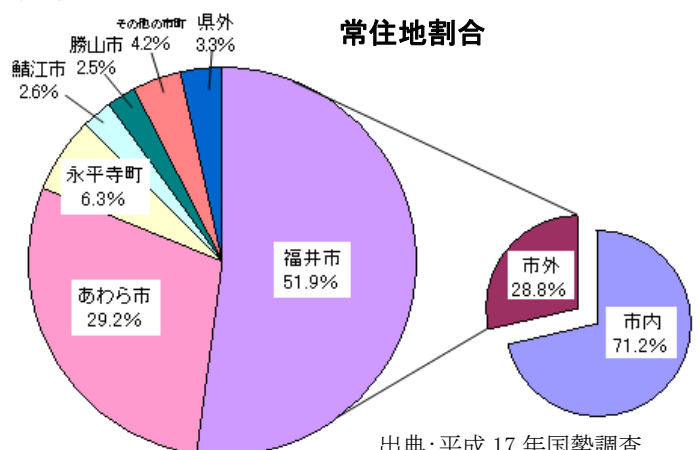
15 歳以上の就業者通学者の流入人口の割合

市名	流入人口割合(%)
大野市	11.0
敦賀市	13.3
勝山市	18.7
小浜市	21.6
福井市	27.7
坂井市	28.8
越前市	28.9
鯖江市	36.2
あわら市	38.3

グラフ 1 坂井市からの 15 歳以上就業者・通学者の通勤・通学先割合



グラフ 2 坂井市への 15 歳以上就業者・通学者の常住地割合



出典:平成 17 年国勢調査

このように、県都であり坂井市に隣接する「福井市」は、通勤・通学について坂井市と深く関わっており、日々約 23,000 人もの方が通勤・通学で往来しています。

☆ 今回の数字の答え ☆ 坂井市の 15 歳以上の就業者・通学者のうち市外へ通勤・通学している者の割合 (平成 17 年国勢調査)